

整理番号:03

川崎市 SDGs プラットフォーム分科会活動報告書

2023年3月24日

分科会名	『端材「新」活用研究会』
------	--------------

分科会長	事業者名	担当部署・担当者名
	NPO 法人地域学習プラットフォーム研究会 関東ブロック連絡会	代表 葉倉峰雄

(1) 活動報告

別紙参照

(2) 関連するSDGsのゴールとゴール達成に向けた具体的な取組内容

- ① ゴール12 アップサイクルモデルの研究・推進による製造現場/企業活動の革新
- ② ゴール9 既存事業から、アップサイクルモデルの返還による技術革新の支援
- ③ ゴール8 自社事業に新たな価値を創造することで、従業員の働きがい、創造性を高め、会社全体の生産性向上の支援
- ④ ゴール17 自社単独でアップサイクルを標榜するのではなく、SDGsプラットフォームパートナー企業との連携実現の支援

(3) 参加メンバー(事業者名)

株式会社ナンバーバル

今年度の計画(目的・趣旨、活動内容)

別紙

2022年度設置

端材「新」活用研究会

分科会長：NPO法人地域学習プラットフォーム研究会関東ブロック連絡会



目的・趣旨

企業の生産活動において継続的に発生する「端材」を単純に廃棄するのではなく、**有効活用するモデルの検討・構築**を目指して活動します。

活動内容と期待される成果・効果

活動①：事例の収集

アップサイクルモデルの情報・ノウハウ等の収集。

活動②：事例の調査研究

収集した事例の調査研究。

活動③：モデル構築に向けた検討と情報発信

調査研究に基づくモデル構築に向けた検討をするとともに、研究会として情報発信を行う。

活動④：セミナー、カンファレンスの実施

事例やモデルの研究結果等をセミナーやカンファレンスで情報発信するとともに、意見交換を行う。

成果・効果

アップサイクルを支援するモデルを構築

関連する主なゴール



分科会イメージ

(仮) モデルイメージ



参加メンバー：2団体

NPO法人地域学習プラットフォーム研究会関東ブロック連絡会、株式会社ナンバーバル

<メンバー募集資料>

http://www.juspa.jp/files/up_MENB.jpg

今年度の実績一覧

1. 企業の「アップサイクル」活動における実態調査
2. 「アップサイクル」に関する情報公開
3. 「アップサイクル」に関するカンファレンスの企画・運営(準備活動)
4. 分科会メンバーの活動実績公開

1.企業の「アップサイクル」活動における実態調査

「アップサイクル・ フォーラム(仮称)」 構想に関するアン ケート報告書

2023/3/14

・実施母体 川崎市SDGsプラットフォーム分科会「端材「新」活用研究会」

- ・実施対象 かわさきSDGsパートナー、かわさきSDGsゴールドパートナー
- ・実施時期 2023年1月12日～3月6日
- ・回答数 36件
- ・アンケート実施目的(次のページに明記)

- 1 自社内で発生する端材の処理/活用状況
- 2 自社内で発生する端材の分類は？
- 3 他社で発生する端材の自社内活用状況
- 4 端材活用方法に関して教えてください。
- 5 自社内で発生する端材を、他社に提供することで有効活用できる仕組み(プラットフォーム)があれば、参加してみたい
- 6 他社で発生する端材を、自社内で有効活用を検討できる仕組み(プラットフォーム)があれば、参加してみたい
- 7 本年度末に企画している「アップサイクル・カンファレンス」(仮)に来場者として参加したい
- 8 自社で蓄積している「アップサイクル」事例・ノウハウ等を、他社に提供したい/提供できる
- 9 本構想を企画・運営している川崎市SDGsプラットフォーム分科会『端材「新」活用研究会』に参加してみたい

本アンケートの実施目的

『端材「新」活用研究会』では、企業の生産活動において継続的に発生する「端材」を単純に廃棄するのではなく、有効活用するモデルの検討・構築(川崎発モデル)を目指し、まずは、川崎市SDGsプラットフォーム パートナー様に対して、アップサイクルモデルに関する実態調査を実施いたしました。

本結果をもとに、当該構想の必要性、実現価値、実現可能性、実現効果性、実現モデル、具体化プロセス等に関して、継続的に検討・研究をし、具体的モデルに仕上げることを目指しております。

今後とも皆様の知見とお力添えをいただければ幸甚です。

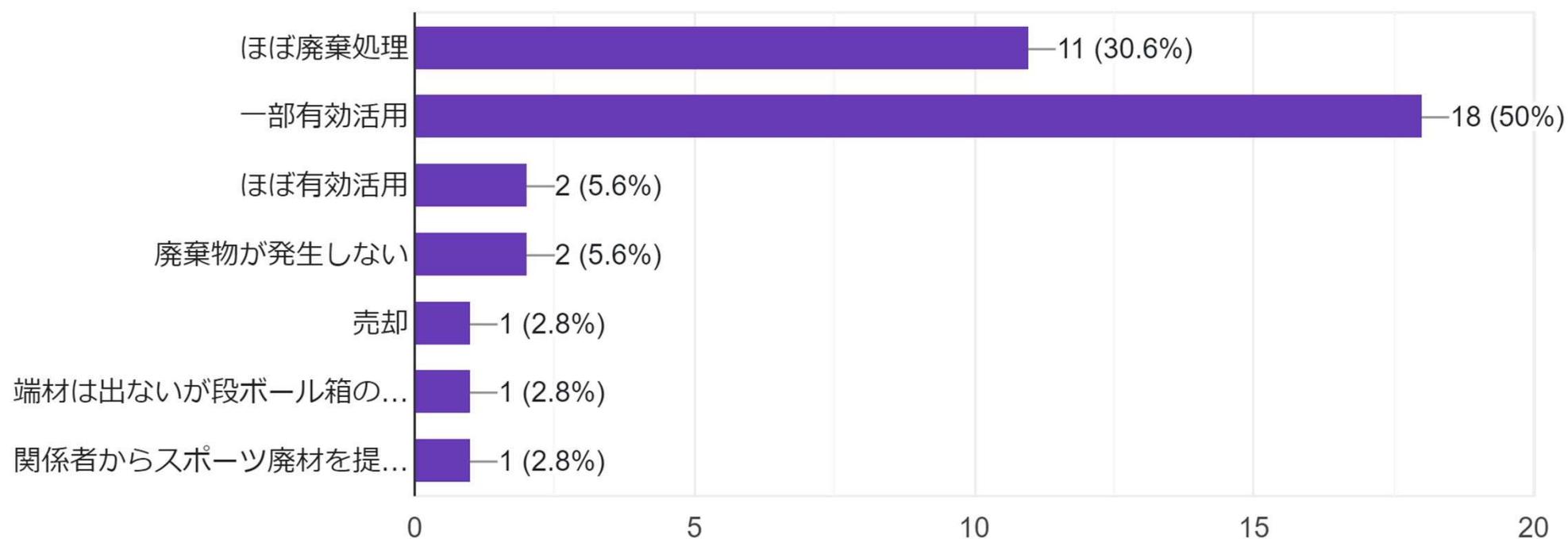
分科会『端材「新」活用研究会』事務局担当：

NPO法人地域学習プラットフォーム研究会関東ブロック連絡会 葉倉

(hakura@juspa.jp 090-9242-7706)

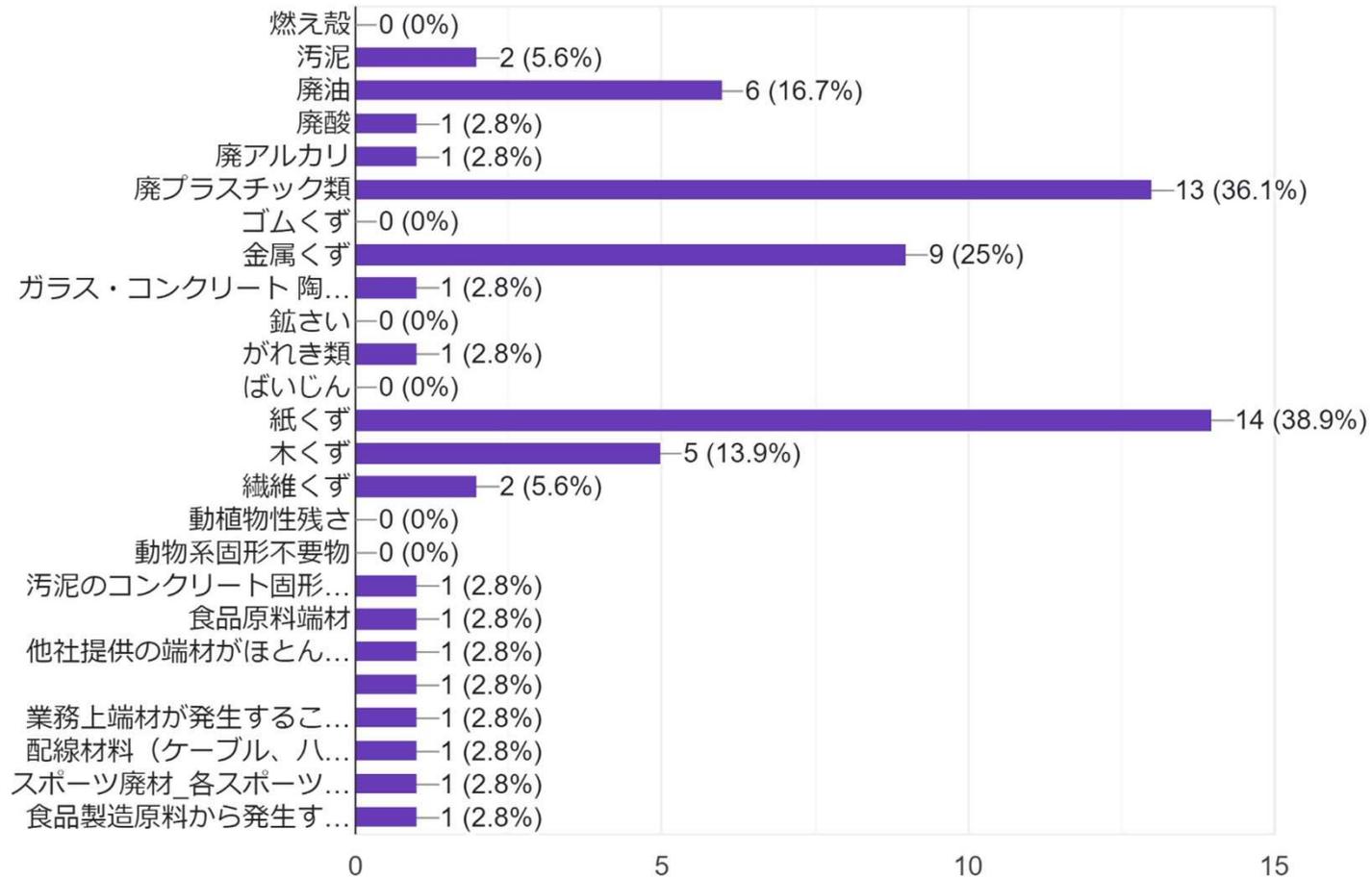
・自社内で発生する端材の処理/活用状況に関して教えてください

36件の回答



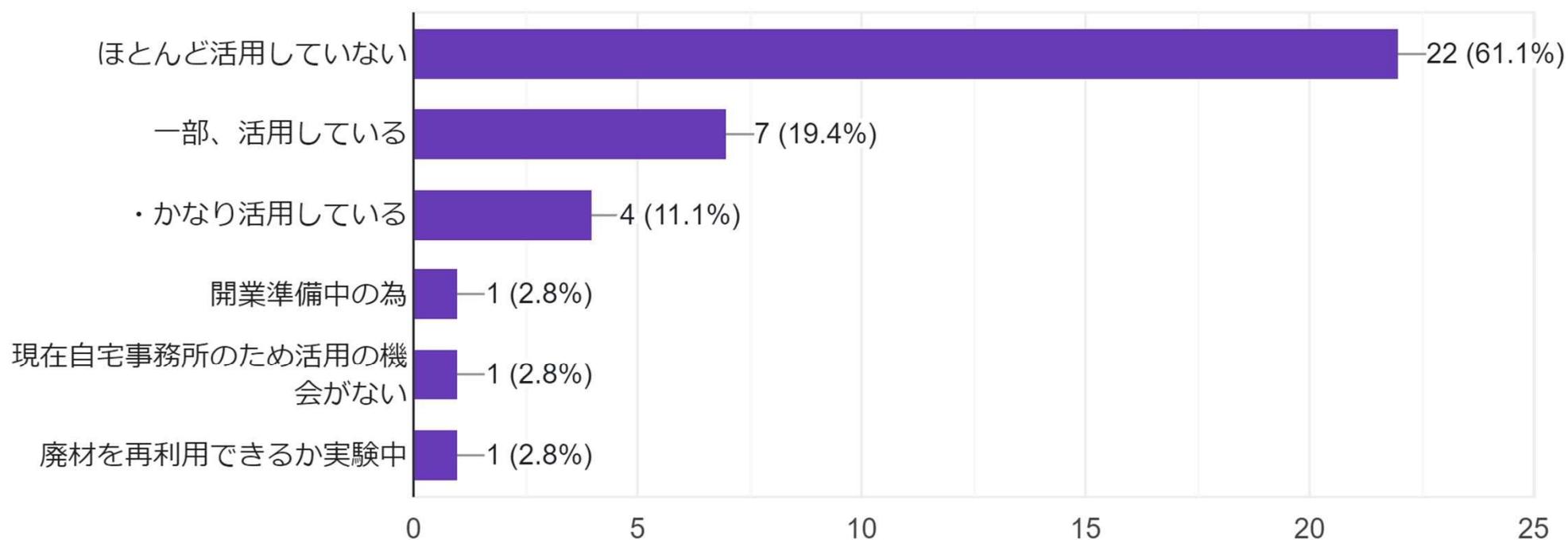
・自社内で発生する端材の分類は?(複数回答可)

36件の回答



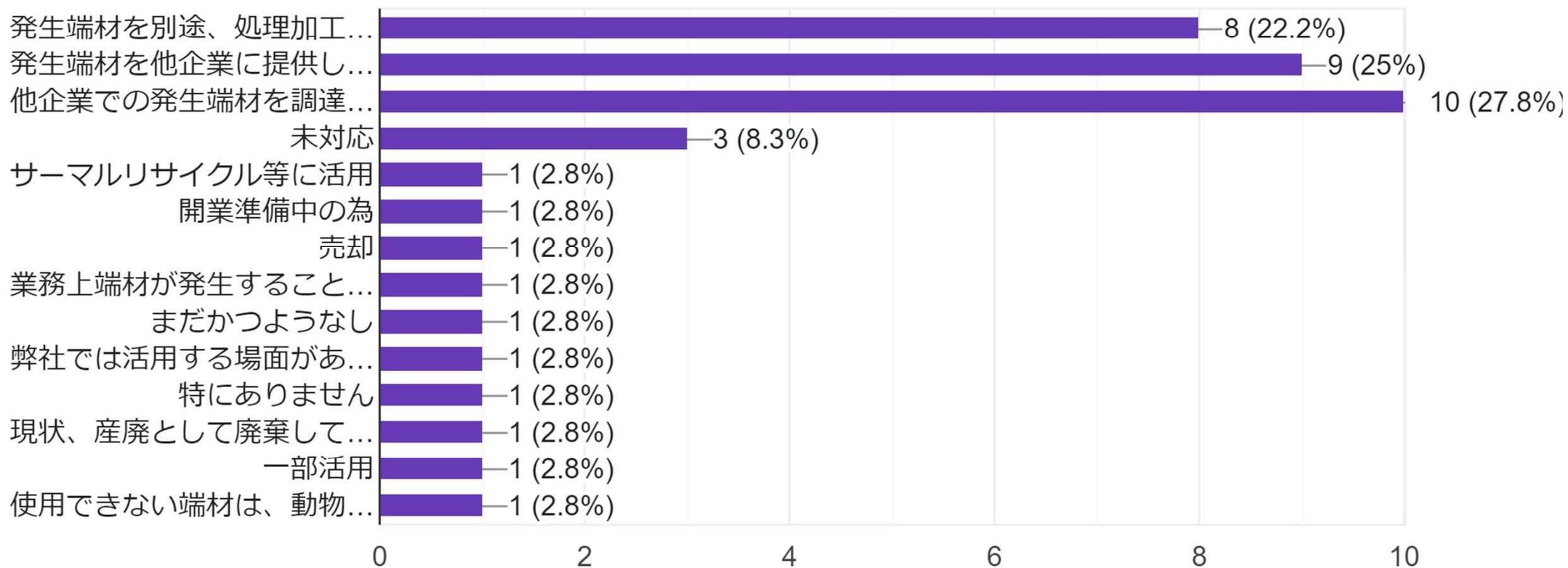
・他社で発生する端材の自社内活用状況に関して教えてください。

36件の回答



●端材活用方法に関して教えてください。(自社内外問わず)

36件の回答



3. 「アップサイクル」に関するカンファレンスの企画・運営(準備活動)

時間	企業毎の事例発表(ウェビナー)	事例公開(データ・コンテンツのダウンロード)		
10:00~10:40	A社発表	a社コンテンツ	b社コンテンツ	c社コンテンツ
11:00~11:40	B社発表			
13:00~13:40	C社発表	d社コンテンツ	e社コンテンツ	f社コンテンツ
14:00~14:40	D社発表	g社コンテンツ	h社コンテンツ	i社コンテンツ
15:00~15:40	E社発表			
16:00~16:40	F社発表	j社コンテンツ	k社コンテンツ	l社コンテンツ
オンライン交流会(日時を決めて実施予定)				

●実施時期

・3月~4月の実現に向けて、準備中

4. 分科会メンバー/ノンバーバル活動実績

プロジェクト 活動レポート 応援コメント 気になる

地元の方々と協働し作り上げたアロマスプレーで「川崎の人・土地・文化」の魅力を再発見！

メディアで話題の大学生アロマ男子が開発

Makuzaをご覧ください。

はじめまして。souveniraromaブランドファウンダーの高橋淳音と申します！

私は高校3年生の頃、アロマブランド『souveniraroma』を立ち上げました。

小学4年生の頃「母の日のプレゼント」でアロマに出会い、そこから10年間趣味として続けてきました。父の起業をきっかけに自身のブランドを立ち上げる運びとなりました。

そして今回、

新発売のブランド『souveniraroma』から、私の地元である川崎のミカンとミカンを使用したアロマスプレーをお届けします！

川崎の方の好きに届くよう、全力を尽くしますので応援よろしくお願ひ致します！

souveniraroma 高橋淳音

地元の「素材」×「人」

横浜と東京の間に位置する神奈川県・川崎。

大都会に囲まれたこの地を中心に活動する「大学生アロマ男子」の高橋淳音が、地元の素材を使用したアロマスプレーを開発しました。

自身のブランド『souveniraroma』を立ち上げから1年の程を経てスタートしたこの計画は、実に多くの方々のご協力のもと完成へと歩みを進めています。

NEWS RELEASE



かわさきSDGs
ゴールドパートナー

川崎市の持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

市内産の柑橘類からアロマオイルを蒸留 『かわさきカンキツオイルプロジェクト』



2022年6月、市内産の柑橘類を用いてアロマオイルを蒸留する『かわさきカンキツオイルプロジェクト』を始動しましたので、お知らせします。



2021年6月、当時高校3年生だった高橋淳音（たかはしあつと）を企画責任者としてアロマブランド『souveniraroma』を設立しました。これまでも地域商業施設とのコラボやふるさと納税返礼品の認定など、地域に根ざした活動を継続してきました。

今回、川崎市の都市農業振興センター様やセレサ川崎様にもご相談をしながら、市内産の柑橘類を用いてアロマオイルを蒸留することにしました。高津区内の摘果ミカンを蒸留した試作品製造に成功しています。

これまでの試作実験について、動画として投稿しています。(QRコードより)「薪を使用する蒸留釜」「ミカンの摘果作業」などを動画でご覧頂けます。



「原材料の調達」「皮むきや粉砕など蒸留の下準備」「果実の消費方法(菓子等への加工など)」「販売方法」などに今後も取り組んでまいります。クラウドファンディングの活用も検討中です。かわさきSDGsゴールドパートナーズの一員として「地産地消」の推進等も含めて、取り組んでまいります。

株式会社ノンバーバル 〒213-0012 川崎市高津区坂戸2-17-7
 代表取締役 高橋昌也(税理士事務所所長)
 アロマ担当 高橋淳音(東京理科大学1年生)
 Tel:070-4440-7796 mail:takahashi@non-verbal.co.jp URL:https://non-verbal.co.jp/